

明石市債権徴収計画（達成状況）

令和5年度

1 はじめに

「明石市債権の管理に関する条例施行規則」第3条第2項の規定に基づき、令和5年度の徴収計画の達成状況を公表します。

2 令和5年度 具体的な取り組み

- ① 現年度徴収率向上を第一とし、滞納となった場合の迅速な督促、適時・適切な催告を徹底することに加え、催告書の文書にも工夫(用紙の色・文言)を凝らすことで滞納者自身による自主的な納付につなげます。
併せて、この取り組みにより自主的な納付の見込めない滞納者を絞り込み、手続きが複雑かつ時間を要する資産調査や差し押さえ等の手続きを行う対象者を明確にすることで、効率的な徴収を行い、次年度へ滞納繰越をさせないようにしていきます。
- ② 弁護士職員の活用により、長期滞留事案の詳細を検討し、状況に応じて明渡し等請求訴訟の提起や支払督促の申立て、相続財産清算人選任の申立て、不動産競売申立てなどの法的回収手続きを積極的に行い、滞納債権を回収します。
- ③ 徹底した調査の結果、財産がないと判断される場合や、相続人が不存在の場合など、債権の回収が不可能で、かつ引き続き債権を管理することが合理的でなくなった事案については、適正な債権管理を図るため債権放棄を行います。

検 証

① 市税及び3保険料

現年度徴収率は、対象債権の全調定額のうち、市税及び3保険料（国保、後期高齢、介護）の4債権の合計調定額が全体の97.2%を占めるため、徴収率の達成状況は実質的にこの4債権の結果如何となります。

4債権共、適正な督促及び効果的な催告をはじめとする、現年度徴収率向上に向けた様々な取り組みが功を奏し、4債権全てにおいて目標徴収率を上回る結果（市税、国保、介護保険の3債権の現年度徴収率は過去最高。）となったことが全体の徴収率を押し上げ、全体の徴収率は目標値を0.16point上回る、99.06%に達しました。

現年度徴収率が99%台に達するのは、決算の集約データの作成を始めた平成22年度以来初となる、過去最高の徴収率となります。

4債権の共通した取り組みの中でも、特に効果を上げているのが、行政機関と金融機関の間で電子データにより預貯金の照会を行う新たなシステムの本格導入です。

このシステムを利用することで、預貯金等の照会に係る事務作業の利便性は飛躍的に向上し、滞納事案に対する早期着手、早期解消に著しい効果を上げております。

近年におけるデジタル・AI技術の発展は目覚ましく、徴収業務の様々な分野に新たな手法を取り入れる動きもありますが、一方、社会情勢は常に速い速度で変化しているため、これらの技術導入に関しては、積極的でありながらも慎重な姿勢で、今後も研究を進めてまいります。

② その他の債権

市税及び3保険料以外の債権については、特に非強制徴収公債権及び私債権において、滞納の抑制や催告の手法等に工夫を凝らすなどの取り組みを行っています。また、いくつかの債権では、弁護士職員に相談のうえ法的措置を進めている事案もあります。

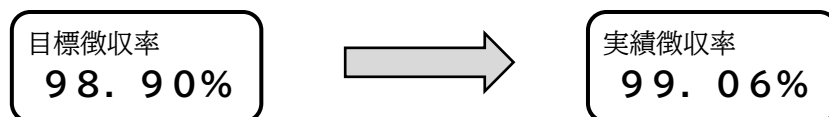
③ 地方自治法の原則により、地方公共団体が行う事務については、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小経費で最大効果を挙げなければなりません。

徴収見込みのない債権を無意味に管理することは、この原則に反するものであるため、債権放棄については回収と同様に積極的に進めていく必要がありますが、一方、負担の公平性を担保するため恣意的な運用は許されるものではありません。

令和5年度においては、強制徴収公債権に関しては地方税法の徴収緩和措置の適正な執行に努め、非強制徴収債権及び私債権に関しては、住宅支援給付金、夜間休日応急診療所使用料、母子父子寡婦福祉資金償還金、学校管理に係る損害賠償金、市営住宅使用料において、債権放棄を行っております。

3 令和5年度 徴収率（企業会計分を除く）

① 現年度分（令和5年度に発生した債権）



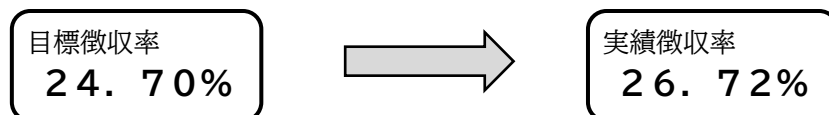
検 証

令和5年度の徴収率は、目標徴収率を0.16point上回りました。

繰越額は約578,803千円で、前年度比で約35,466千円縮減しました。

現年度徴収率は、市債権の未収金対策の一環として決算の集約データを作成した平成22年度以来、初の99%台を達成しました。

② 滞納繰越分（令和4年度以前に発生した債権）



検 証

令和5年度の徴収率は、目標徴収率を2.02point上回りました。

繰越額は約1,209,930千円で、前年度比で約78,903千円縮減しました。

徴収率の推移に関しては、年度によって変動があるものの、翌年度への繰越額は着実に縮減させております。

【参考】過去5年間の徴収率及び滞納額の推移

年度	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
現年徴収率（%）	98.74	98.15	98.93	98.98	99.06
滞繰徴収率（%）	24.07	21.65	33.66	24.74	26.72
現年度分繰越額（千円）	753,108	1,097,092	625,887	614,269	578,803
滞納繰越分繰越額（千円）	1,736,465	1,547,302	1,408,987	1,288,833	1,209,930
滞納繰越額合計（千円）	2,489,573	2,644,394	2,034,874	1,903,102	1,788,732